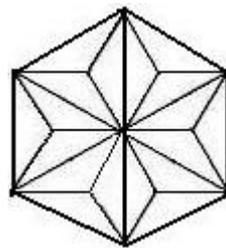
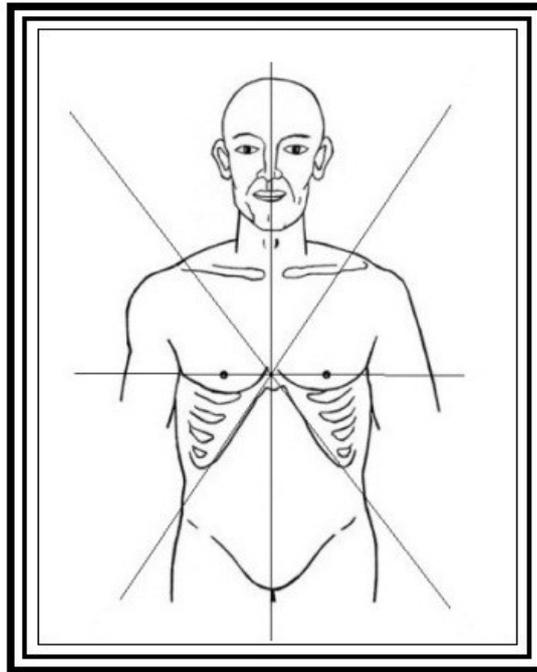


天城流湯治法・指導者育成
研修テキスト（望診法・顔診法）



一般社団法人 天城流湯治法協会

本コンテンツは、著作権法で保護されている著作物です。その取扱いにつきましては、以下の点にご注意ください。

本コンテンツに含まれる情報は、著作権法により保護され、また秘匿性の高い内容であることも踏まえ、本講座受講者及び映像購入者は、その情報を「杉本進」の書面による許可を得ずして、一般公開してはならないものとします。

- ・複製（コピー）
- ・出版
- ・講演
- ・コンサルティング活動
- ・電子メディア（インターネット、携帯端末等）による配信
- ・オークション等への出品、転売等

あらゆる形式において公開を禁止いたします。

本講座受講者及び映像購入者は、自らの事業所（院、サロン等）、及び直営組織（分院、支店等）においてのみ本コンテンツに含まれる情報を使用できるものとします。

本講座受講者及び映像購入者が、この規定に違反した場合、「杉本進」は、直ちに法的措置を取らせていただくこととなりますので、くれぐれもご注意ください。

【重要確認事項】

「天城流湯治法オンラインスクール動画コンテンツ」及び「天城流湯治法オンラインスクール テキスト」の内容をご覧になった時点で、下記の免責事項をご承諾頂いたものとみなさせていただきます。

《免責事項》

「杉本進」は、教材内の情報を活用された際、第三者に何らかの損害が発生したとしても、その損害については一切の責任を負うものではありません。

教材内の情報やデータは「杉本進」個人の感想や経験であり、効果効能を保証するものではありません。特に各種法律には十分にご注意頂き教材をご活用下さい。

※一部画像提供「チームラボ」

望診法・顔診法の内容

人の身体は必ずその滞りや不調を色々な形で表している。膨らみ、へこみ、湾曲など。その身体のメッセージを「自身で気づく」事が本来の形ではあるが、人は性格を含む自身の身体についての気づきはなかなか判らない。

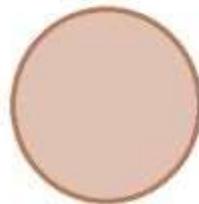
天城流湯治法は望診法、顔診法によって相手に身体の状態を伝え、気づきを与え、解消法を指導して相手との信頼関係をむすぶのが基本である。

※ 望診法とはその人の姿勢、立ち姿、歩き方、立ち振る舞いによって体調を見定める方法である

この方法はクライアントとの信頼感を深める重要な方法であるが診断法ではない

顔にできる吹き出物、赤見、シミ、ホクロなどもその部分の内臓の状態を表す
シミの場合

シミの形の症状



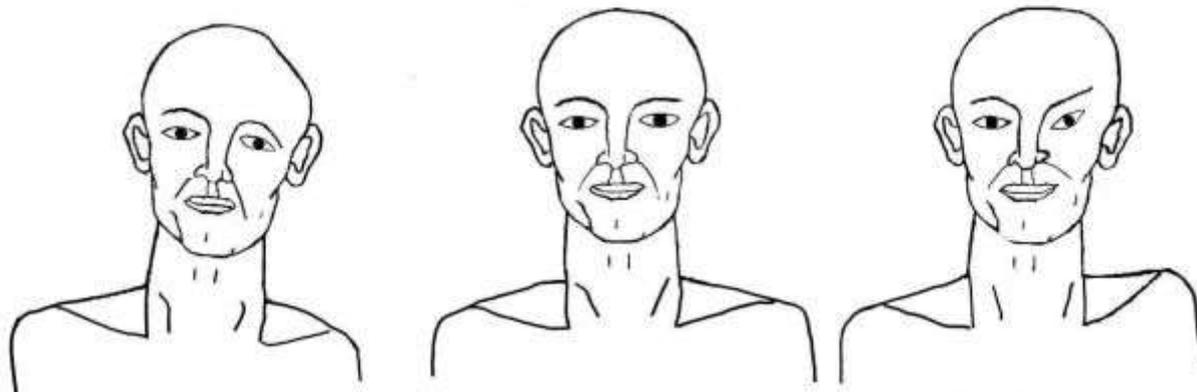
日焼けコスレなど
外因でできるシミ



何らかの内臓疾患で
できるシミ

輪郭がはっきりしているシミは日焼け、コスレ、ダメージなどの原因がある
黒い点々で出来ているシミは内臓疾患からきているシミの可能性があり
内臓の触診や医療機関で確認するのが賢明である

姿勢チェックと顔診法

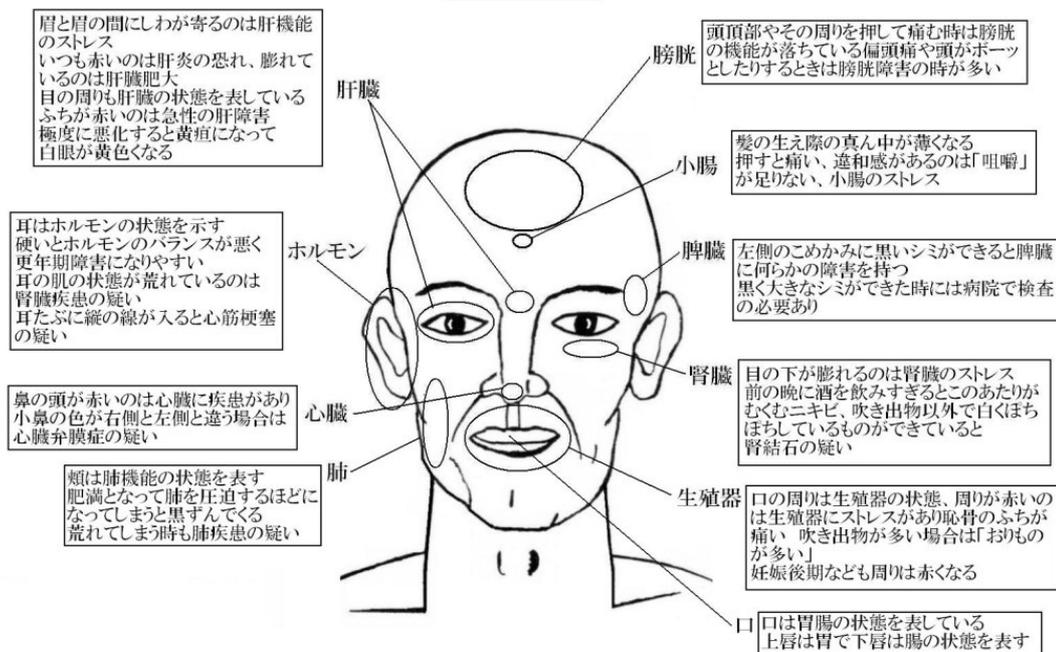


顔のどちらかが下がっている人は
下がっている側の臓器の肥大か炎症を疑う
上図のように左の顔が下がっている場合や
左の肩が狭くなっている下がっている場合
は左側の臓器の異常
心臓肥大、胃の上部下行結腸における炎症
の前兆を疑う

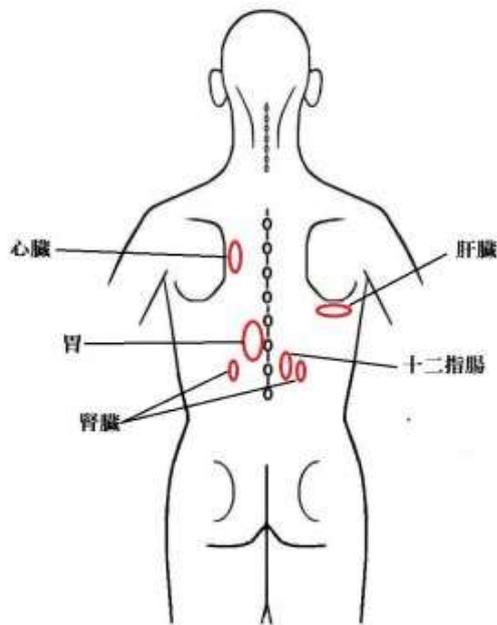
顔のどちらかか上がっている人は
上がっている側の臓器の硬直系の異常を疑う
上図のように左の顔が上がっている場合や
左の肩が狭くなっている上がっている場合は
左側の臓器の硬縮系の異常の前兆
心筋梗塞、腎結石、偏頭痛、便秘を疑う

この望診法によって大体のクライアント状況を判断し、顔診法によって更に分析していく

顔診法



背中に見る内臓の状態



◆一番目の身体のシグナル背中

人間の身体の不調のシグナルは最初に背中にでてくる。

咀嚼不足で食べ物を喉で呑み込むと頸椎のところにある斜角筋群が硬く委縮して

左右のバランスを崩してしまい胃腸系のストレスを抱える

そのストレスが最初に背中側の肩甲骨の周り、背骨から腰の上部にかけて滞りができ動きが悪くなる。

背中は見えないし、手も届かないので、

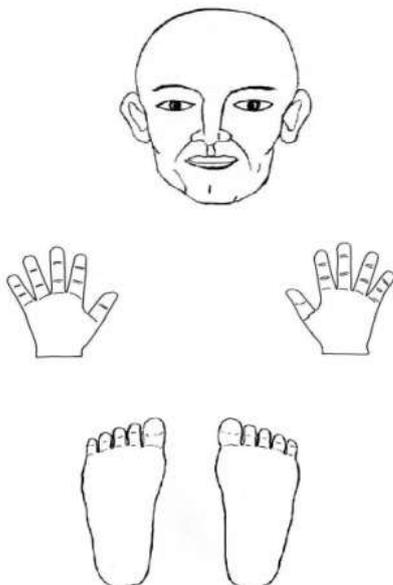
そのまま放置してしまう事が多い。

東洋医学的な考えでは、内臓の位置の背中側に仮想的な穴があるとされる。これは愈穴と呼ばれる愈穴が詰まると、やがて内臓に影響がでてくる。

これが一番目の身体のシグナルである。

東洋医学的な理論で言うと、背中さえほぐれていれば大事に至らない。

原 穴



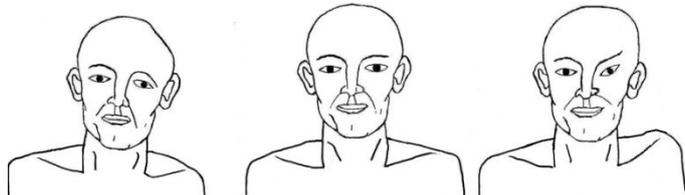
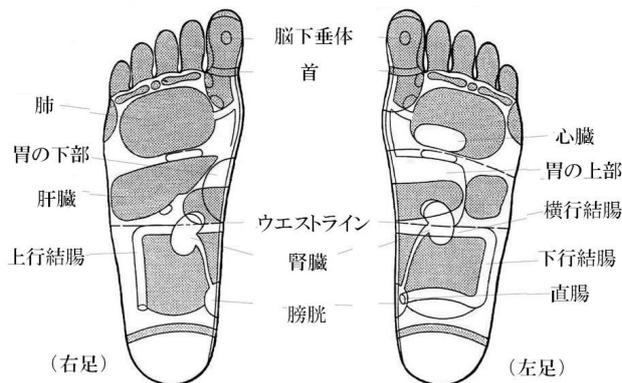
◆二番目の身体のシグナル

顔面、手の平、足の裏

一番目のシグナルである愈穴をそのままにしておくと、二番目のシグナルである原穴に影響を及ぼしてくる。原穴とは顔面・手の平・足の裏につながる経絡と言われている。

顔つき、顔色、顔のむくみ・バランスを見て、その人の内臓の状態を把握することである。

足の裏の反射区



顔のどちらかが下がっている人は、下がっている側の臓器の肥大か炎症、逆のように左側の顔が下がっている場合は左側の肩が縮み、下がっている場合は左側の臓器、胃の上部の炎症、心臓肥大、大腸系の炎症系の病気の兆候

姿勢チェックと顔診法

顔のどちらかが上がっている人は、上がっている側の臓器の梗塞、逆のように左側の顔が上がっている場合は左側の肩が縮み、上がっている場合は左側の臓器、心筋梗塞、腎臓結石の疑い、左側の頭痛

原穴に滞りがおこり始めると

身体の左右・前後のバランスが悪くなり、正中心点のアンバランスが起きてくる。

具合の悪い側の肩口が縮んで上がっていると硬直系の病気になりやすく、逆に縮んで下がっていると肥大系の病気になりやすい。

例えば、心臓は左側にある為、左側の顔や肩が縮んで上がっていると(硬直系)で、心筋梗塞の兆候、逆に肩が縮んで下がっていると(肥大系)で心臓肥大の兆候が表れる。

また、西洋医学の観点から見ると、DNAの遺伝で病気になると言われるが、DNAの遺伝と言うよりもその病気にかかりやすい体形が遺伝するのである。

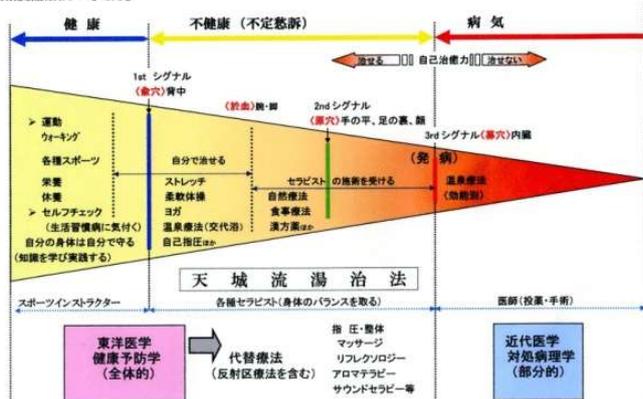
同じ卵子、同じ精子で出来た兄弟の中でも、糖尿病にかかる人、かからない人、父親が糖尿病で子供も糖尿病になるケースを見てみると、糖尿病になってしまう子供は父親ゆずりの体型である。

◆三番目のシグナル(内臓の痛み)

二番目のシグナルである原穴にも気がつかず、そのままにしておくと、やがて内臓や筋肉・骨格の痛みという形で現れる。しかし、このような自覚症状へと繋がる前に、すでに身体はあちこちに痛みとしてシグナルを送っているのである。足などの筋肉や骨格のふちなどを押ししてみると痛い所がかなりある筈である。

これは普段、自分では気がつかない痛みで、この事を不定愁訴と言う。

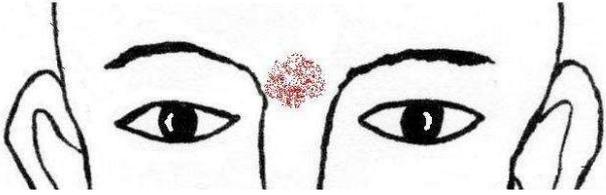
【天城流湯治法の考え方】

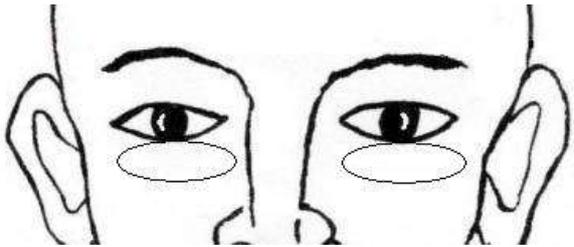


	<p>◆顔の部位で表す内蔵の位置</p> <p>顔の部位で内蔵の状態を把握できる。左右対称となる各部位の大小、色、陰りなどで判断する。</p> <p>例えば、左目が小さい場合は、左側の骨格・筋肉・内臓などが滞っている。それが、左腰の痛み、左膝の痛み、左側にある臓器(心臓・胃の上部・横行結腸から下行結腸の間)の機能低下となって表れる。</p> <p>※右側の臓器(肝臓、十二指腸)</p>
--	--

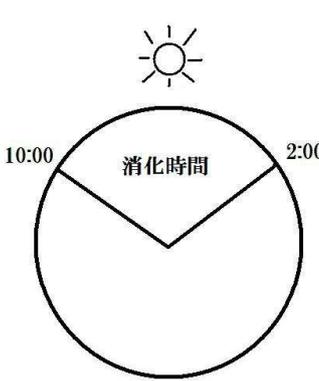
	<p>◆顔診法 眉間(肝臓)</p> <p>眉間は肝臓と肺の状態を表す。眉間にたてシワがある場合、肝臓にもたてシワがよっており、働きが低下している。肝臓の働きが低下すると、血液の浄化がうまくいかずに汚れた血液が身体を循環してしまうのでイライラしてしまい、更に眉間にシワがよる。眉間にしわがよるほど肝臓が硬くなっている。</p>
--	---

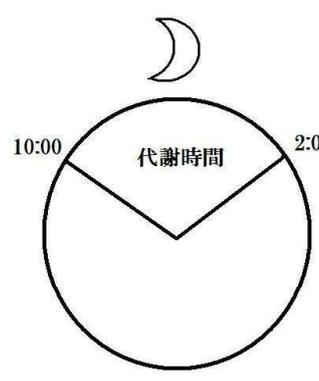
	<p>眉間がふくれている場合、肝臓肥大の兆候で、甘い物の取りすぎか動物性脂肪の取りすぎなので甘い物や肉食をなるべく控える。高脂血症などの症状もこの兆候が表われる。</p>
--	---

 <p style="text-align: right;">図 3</p>	<p>◆顔診法 眉間 2</p> <p>心の動揺もなく身体を動かしていないにもかかわらず 眉間が赤くなっている場合がある。これは肝炎の前兆で、お酒の飲みすぎや刺激物を多く取りすぎたことが原因である。</p> <p>しかし、このような生活習慣がない人にも肝臓が悪くなるときがある。これは、生まれつき身体の骨格がゆがんでいたり日常で右肩が下がるような姿勢をしていたりする場合である。肝臓への圧迫が生じ、その兆候として眉間が赤くなるのである。</p>
	<p>眼を閉じて眼球の斜め上を押して痛い場合、肝臓に負担がかかっているサインで自分でも自覚できる。</p> <p>あまり強く押すと目がかすむので、そっと押して、確かめてみる。</p>
	<p>眼球も肝臓の状態を表す。</p> <p>肝臓が相当悪くなってくると、眼球の血液・リンパ液の流れが悪くなって眼全体が黄色くなって黄疸となる。</p> <p>目ヤニが出やすいのは乳製品の摂りすぎで目から乳製品がチーズとなって出るのである</p>
	<p>眉間の横ジワは肺の下部の滞りで呼吸が浅い</p> <p>鎖骨の下側に硬い滞りがある。</p>

	<p>◆顔診法 目の下 腎臓</p> <p>目の下のフチは腎臓の状態を表す。 前の晩に、お酒などを飲みすぎると腎臓に負担が掛かり目のフチが膨らみ、顔全体がむくんだように見える。 しかし、顔全体がむくむのではなく目の下あたりがむくむので顔全体がむくんでいるように見えるのである。 普段から目の下がむくんでいるのは腎臓に負担が掛かっていて腎臓が肥大している状態である。</p>
	<p>目の下のくまは腎臓の硬直を表す。 日内リズムが逆になり、昼と夜の行動が逆転し、「代謝の時間」に食べ物を食べる、「消化の時間」に寝ていることが多いと腎臓に負担をきたす。 化学物質・ケミカル系の薬物などが体内に蓄積したり、また、過度なSEXをするとこの様なくまができる。</p>

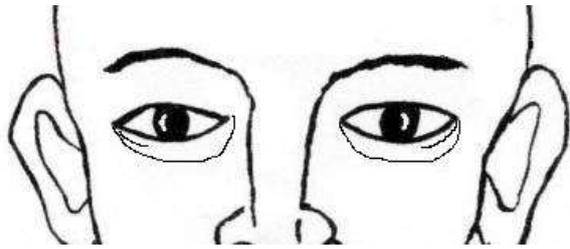
日内リズム





午前10:00から午後の2:00まで体内では「消化の時間」にあたる。仕事、体内に蓄積しているエネルギーまでを消化してしまうので、この時間に胃腸に何も入っていないと、骨髄などに蓄積しているものも消化してしまい、体力が落ちてしまう。

よるの10:00から夜中の2:00までの時間は「代謝時間」。この時間に胃腸に食物が入っていると、消化をしなければならぬので、新陳代謝がうまくいかないと夜中まで起きて、食べ物を食べ続けると肌は荒れ、顔色も悪くなって不調になる。魔の時間と言ってこの時間は寝ている事が良い。



目の下が膨らみ、たるむのは腎臓肥大の兆候である。

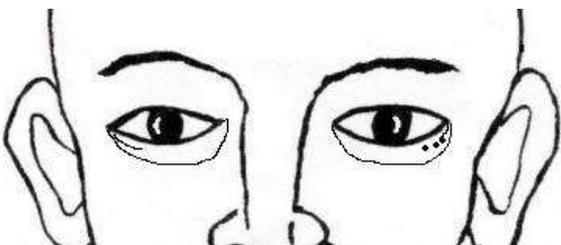
アルコール類を摂る、深夜の飲食などの習慣を続けると日内リズムが乱れ、代謝がスムーズにいかず目のフチがむくむ。

一般的に、腎臓の障害は塩分の摂りすぎだといわれるが、質の高い塩分を摂れば腎機能が低下する事はない。塩分より腎臓に負担がかかるものは化学物質が混じった食べ物である。

化学物質が混じった物を食べると、腎臓がそれを解毒しようとして負担が掛かってくる。

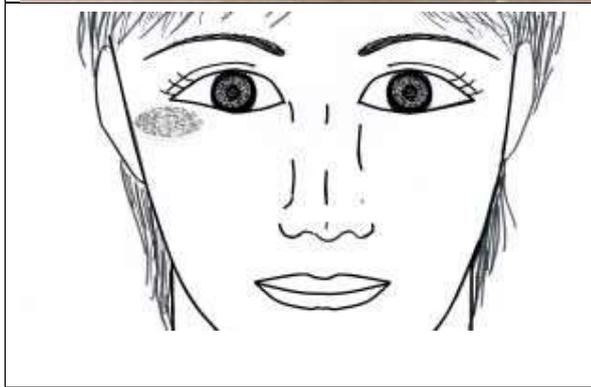
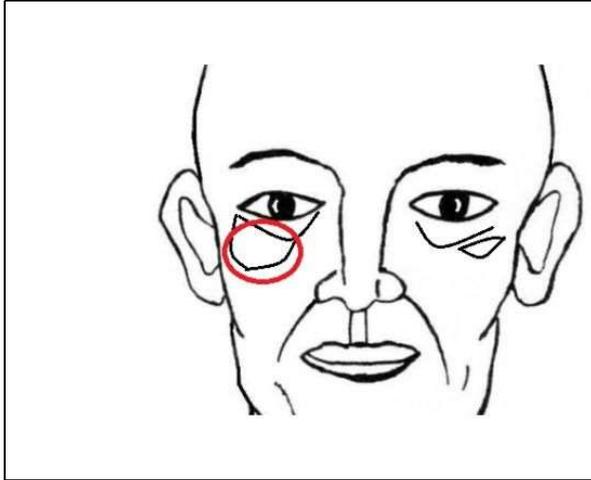
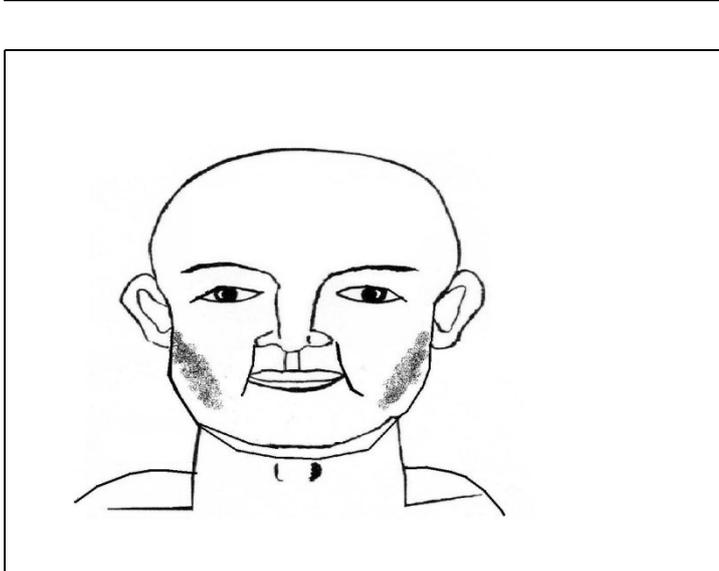


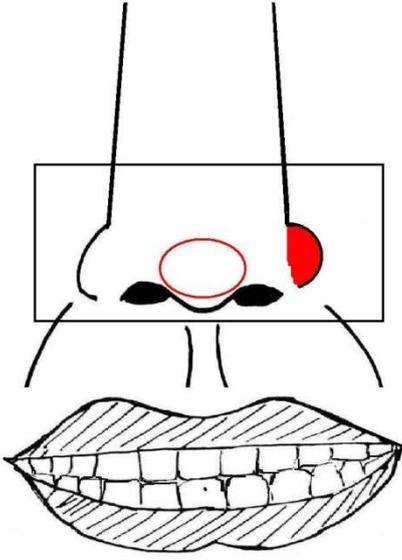
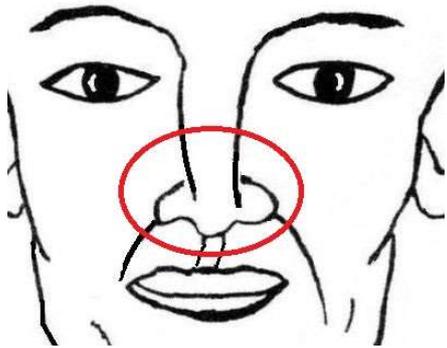
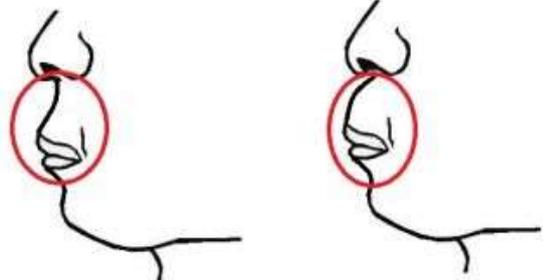
目の下を押すと痛いのは精神的に負担が掛かっている場合でもある。これは愛想笑いをしなければならない様なサービス事業に就いている人におこりがちな症状である。自分の気持ちを抑え相手に対して良い顔を見せなければならない、心とは裏腹な笑顔を振りまく時が多いなど、無理して笑顔を振りまくので、身体に対してのストレスとして顔が引きつってくるのである。第二のシグナルである顔が引きつって硬直すると、第三のシグナルである内臓—腎臓に影響を与える。腎臓に負担がかかると、腎臓が位置するお尻上部周辺に緊張ができて腰痛となる。



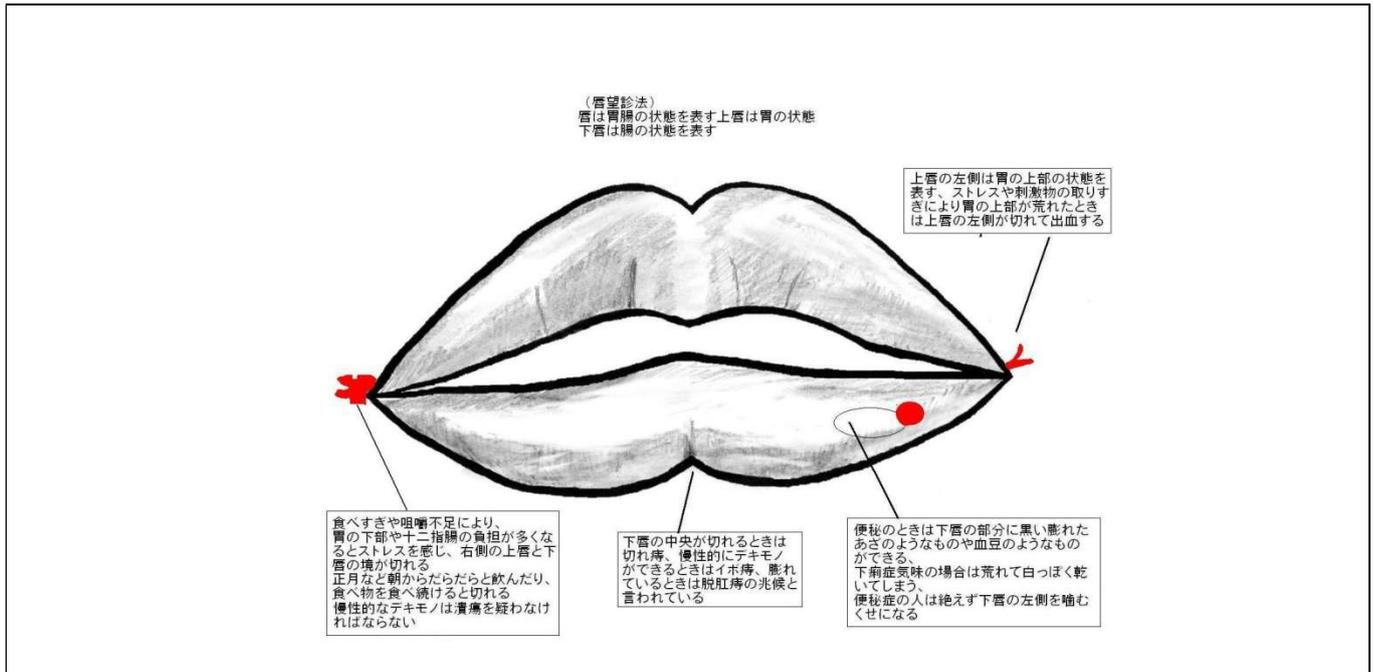
目のフチに脂肪のかたまりのような、吹き出物のような、小さなふくらみが数個できることがある。

これは腎結石の兆候である。ここに2個あれば腎結石は2個である。

	<p>左の写真の目の所にある小さな脂肪のかたまりのような部分が、赤い線の丸印が腎結石の兆候である この小さなところが青であれば青の石 ピンク色をしている場合はピンク色の石である 2個あれば2個 3個あれば3個である</p>
	<p>女性で頬骨の外側に違和感のある膨らみがあるときは乳腺炎を疑う この部分は顔診法では胸の部分であり肺の部分でもあるのでここが膨らんでいるときは乳腺炎の事がある</p>
	<p>頬の上に膨らみがあつて腕の部分が内側に巻き込んでいる、頭の位置が前に出ている場合は 前鋸筋が硬くなつていて呼吸がしにくくなっている</p>
	<p>◆顔診法 頬（肺） 頬は肺の状態を表す。 肥満になり、胸骨の周りに脂肪がついてしまひ、肺が圧迫されると、その兆候として頬が黒ずむ。</p>

	<p>◆顔診法 鼻（心臓）</p> <p>鼻は心臓の状態を表す いつも鼻の頭が赤いのは心臓のストレスを表す。 「変なおじさん」は心臓の具合が悪い。</p> <p>鼻の頭が白っぽいのは心臓に血液が流れにくくなっていて心筋梗塞を起こしやすい</p> <p>小鼻は心室の状態を表している。 左側の小鼻が赤いが、右側の小鼻は赤くない時は心臓弁膜症の兆候を表す。</p>
	<p>◆鼻骨</p> <p>鼻骨が曲がっているのは 尾骨が曲がっている しりもちなどをついて尾骨を打ってしまい</p> <p>尾骨が曲がると鼻骨も曲がってしまう 鼻の骨折で曲がっても尾骨に影響を与える</p> <p>左に曲がっていると パーキンソンやアルツハイマーになりやすい</p>
<p>正常な上唇 恥骨が出っ張っている上唇</p> 	<p>上唇が出っ張っている人は恥骨が出っ張っている</p> <p>恥骨のふちを押すと硬くて痛い 子宮筋腫や生理不順、不妊につながる 原因は咀嚼不足</p>

口周り



◆顔診法 口（胃腸）

口は「食べる」と「しゃべる」為の器官である。

唇は胃腸の状態を表す。

上唇は胃の状態、下唇は腸の状態を表す。

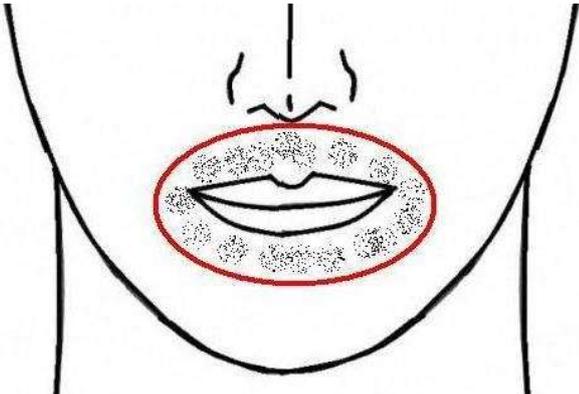
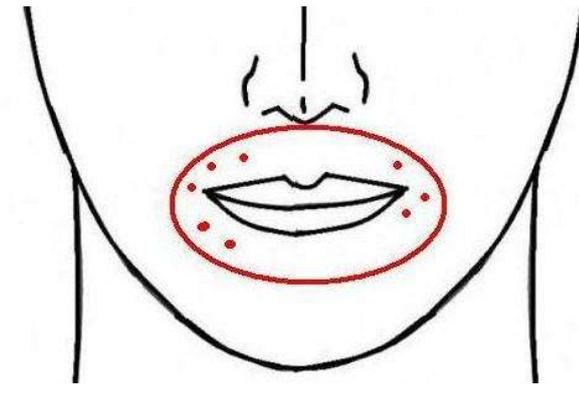
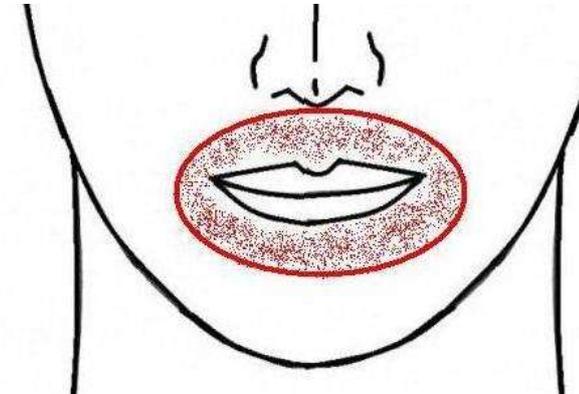
下唇の左端をかむ癖の人は便秘で、下唇を噛む事によって間接的に腸を刺激しようとしているので下唇の左端が荒れる。



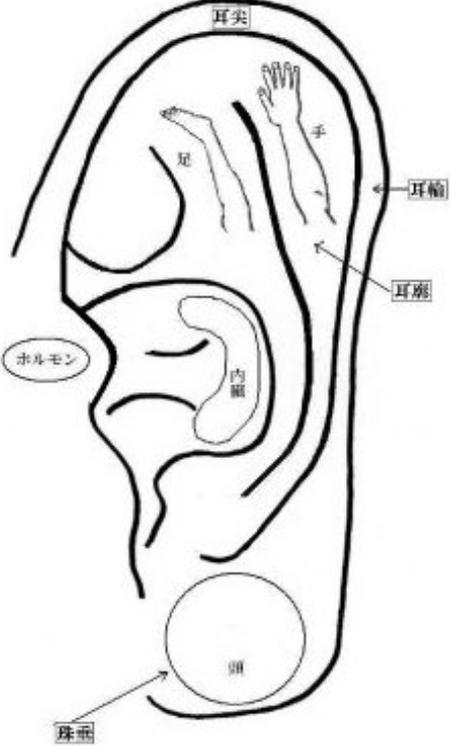
大腸系のストレス

唇の左側に黒ずんだ血豆のようになっている

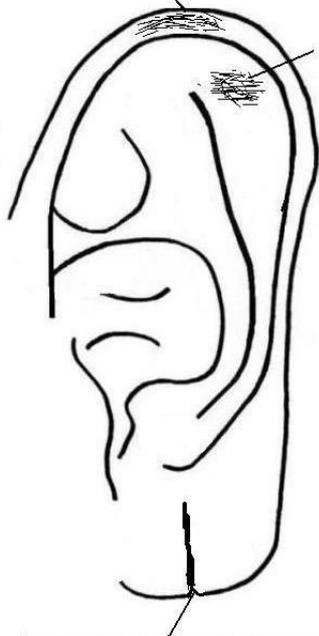
写真は憩室炎（けいしつえん）

	<p>◆顔診法 口の周り（生殖器） 口の周りは生殖器の状態を表す。 特に女性の場合は顕著に現れる。</p> <p>口の周りが黒ずむのは性ホルモンの分泌の低下が考えられる。</p>
 	<p>口の周りにいつまでも治らない吹き出物が出来るときは、早目に婦人科に行って検診をしてもらった方が良い。 臙カンジタなど</p>
	<p>口の周りが赤いのは臙の炎症が考えられる。</p>

耳の形状による見分け方

	<p>耳の形状にも身体の状態が出る。 耳は身体全体の状態を表す。 耳が硬いと身体全体も硬くなっているので 耳を柔らかくすると身体も柔らかくなる。 ピアスをするとその部分は痛みが走り機能が落ちてくる。 耳廓の部分にピアスをするとう腕の部分に痛みが走るためピアスを外してもらおうといい。</p> <p>腕や足が痛いと言っている人の中には耳にピアスを入れていることが多い。 クライアントが来たら耳も良く見る事。 耳全体が硬いとホルモンバランスが落ちて更年期障害になりやすい。柔らかくすると症状が軽減する。</p>
	<p>ピアスがからだに合わないと ピアスの穴が化膿したり、長い間、浸出液が止まらない それでも続けていると いつか、からだからピアスを自ら外そうとして 耳たぶを切ってまで、 からだからピアスを外す結果になる事がある</p>

右の耳尖が荒れている時は感覚が鈍り、直感力が落ちる
左の耳尖が荒れている時は経済的に逼迫していてお金に困窮している



ここがカサカサしている
と手にしもやげができる

耳たぶに深いしわができた時は
脳梗塞・脳血管障害の前兆

耳が荒れていると訴える人は頭の滞りや手のしもやけ、足の水虫などが悪化して、その兆候を出している時がある。

片方の耳が異常に赤い場合はホルモンの過剰分泌が考えられる。

耳たぶが今にも切れそうなぐらいの線が入っていると脳梗塞や脳血栓の前兆

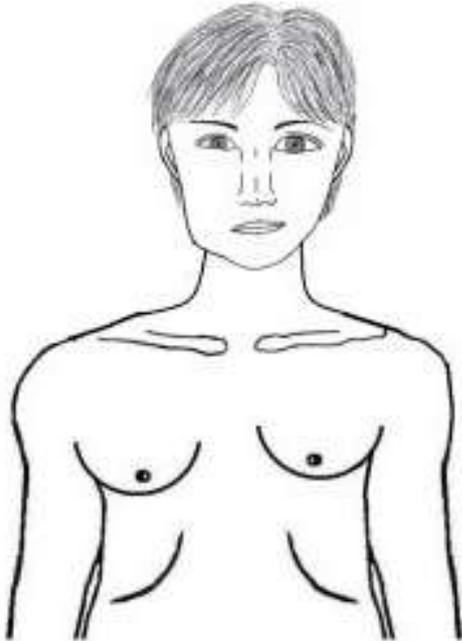


左の写真は脳梗塞の前兆

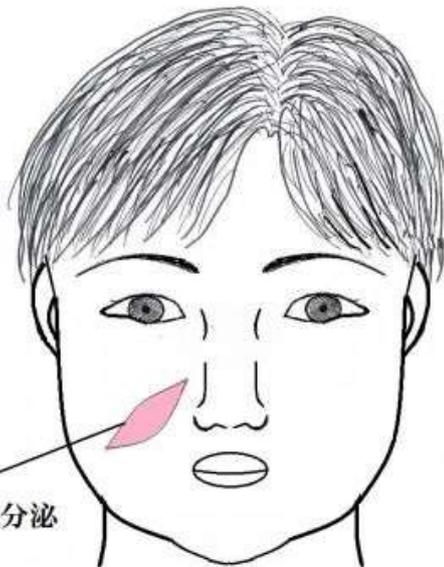
彼は脳梗塞になった経験があると言う
耳たぶが今にも切れそうなぐらいにすじが入っている

※ 望診の立ち姿勢と顔診とが一致しない場合

甲状腺ホルモンの異常

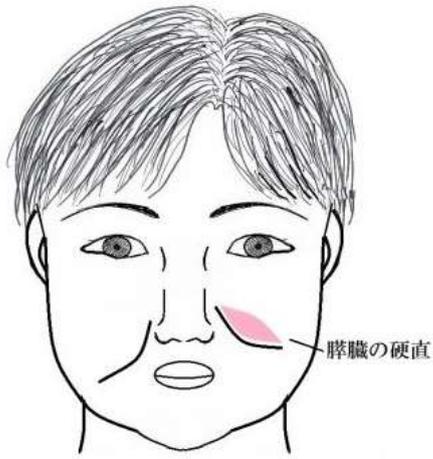


望診の立ち姿勢と顔診とが一致しない場合は甲状腺の異常かバセドウ病の可能性がある



ホルモン分泌
の低下

ほうれい線が深くなっているのは乳輪が硬くなっている
乳輪はホルモンの分泌を司っているので乳輪をやわらかくほぐす

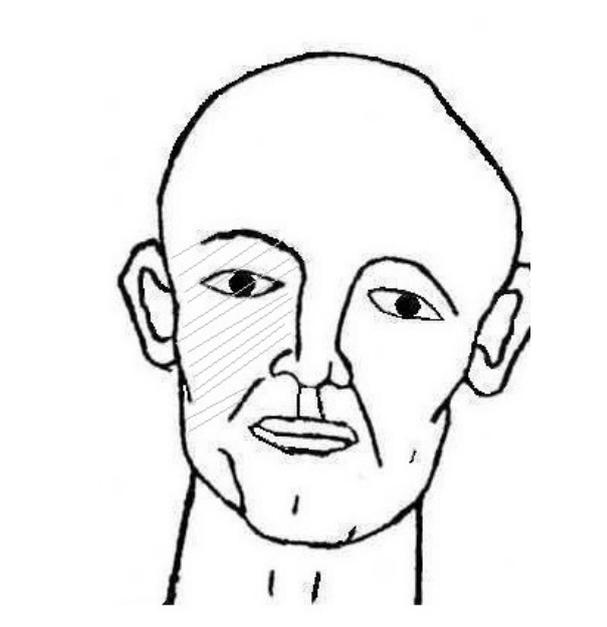


左側の頬が右側の頬より小さく硬直しているのは膵臓の硬直が考えられる
糖尿病の前兆でもあるので
注意すること



	<p>副腎の機能低下 目のふちが膨らんでいるのは副腎の機能低下を表している 刺激物の摂取を避ける事</p>
--	---

痛みを自分で作っている顔、治療しても改善している事が自覚出来ない顔

	<p>左の図の顔は 右側が暗く直感、感性が落ちている 左側の顔が落ちているので 判断力も低下している この顔の人の痛みは自分で作っているか？ 痛みと勘違いしている事が多い</p>
---	---